

インターバンクの声（2016年3月28日）

今週は後半に本邦の期末・期初を迎え、米雇用統計の発表も予定されているため、為替ディーラーのみならず市場関係者にとっては緊張感が高まる一週間になりそうだ。その直前の先週末はイースター前のグッド・フライデーとあって、ニューヨーク市場も外国為替市場が開いていたと言っても実質的には休場状態で、夜中も想定外の相場変動を気にせずに眠ることが出来た。就寝前に確認出来た米第4・四半期実質GDP確定値は、個人消費が上向きに改定されたことで年率換算で前期比1.4%増に上方修正されたが、市場参加者が少ないために反応は限定的だった。先週は米GDPの上方修正の発表前にも複数の米連邦制度準備理事会（FRB）の高官から4月の利上げを示唆する発言が相次いだり、原油価格もゆっくりだが上昇に転じているように見え、ドルも上向きに動きつつあるようにも感じられた。あとはいまだに不透明感が強い中国経済の先行きにも明るさが見えてくれば勇気づけられるのだが、3月の中国製造業PMIの発表は米雇用統計と同じ日のため、それまでは上海総合指数の動きなどを注視して行くしかないようだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。